

# 開花情報

2021. 6. 14 撮影

## チュウキンレン(地湧金蓮)



バショウ科 ムセウ属の常緑多年草。

中国雲南省原産で、葉の無い茎の先端に鮮やかな黄金色の花を着けるユニークな植物です。黄金色の苞葉がハス(蓮)の花のように見える。苞葉の内側に並んでいる一つ一つが本来の花。

日本では1990年に大阪花博が開催され、目玉植物として展示された事で世に知られるようになりました。花丈は60cm~100cm、花径は20cm~30cm。花期は長く春~秋観賞できます。

レストランあかまつの北側デッキ付近で見れます。

## アガパンサス



ユリ科 ヒガンバナ属。「紫君子蘭(ムラサキクンシラン)」や「アフリカンリリー」とも呼ばれている多年草です。花弁が反り返っているのが特徴で、光沢のある葉から花茎をずっと伸ばした先に花を咲かせます。南アフリカが原産で、放っておいても毎年花を咲かせるほど丈夫。県道沿いや苑内各所で見れます。

## ギンバイカ(銀梅花)

フトモモ科 ギンバイカ属の常緑低木。地中海沿岸原産。花が結婚式などの飾りによく使われるので「祝いの木」ともいう。葉はもむとユーカリに似た強い香りを放ち、多数の長い雄しべがめだちます。果実は黒紫色の液果で、甘みがあります。花や葉は薬用にするほか精油の原料となります。





## コムラサキ(小紫)



クマツヅラ科 ムラサキシキブ属の落葉低木。  
6月から7月にかけて画像のような黄色と紫色の花を咲かせ、9～11月にかけて紫色の実ができる。ムラサキシキブは樹高が3mになる「木」という印象だが、本種は樹高が1.5m程度になる。レストランあかまつの北側デッキ付近で見れます。

## コバノランタナ



## ヘメロカリス



## アメリカデイゴ

マメ科 デイゴ属の落葉低木。  
南アメリカ原産の落葉低木。南アメリカ(ブラジル及び北部アルゼンチン)を原産とする暖地性の花木。日本へ渡来したのは江戸時代末期のこと。日本では庭木として使われる。寒さに弱いため関東以南で栽培可能。花期は6～9月頃で赤い花を咲かせる。ターミナル進入路付近で見れます。



## ギボウシ(擬宝珠)



## ブルーベリーの実



## お問い合わせ

久留米市田主丸町地徳3558番地1  
内山緑地建設株式会社 総務部  
0943-72-2138(平日のみ8:00～17:00)

さんぽ道ホール  
0943-72-4580(10:00～17:00)  
検索【[楽天市場](#) [ガーデンショップさんぽ道](#)】